

薬剤師が中心となって委員会やさまざまな活動をしています。

◎ 委員会

● 院内感染対策委員会

結核・百日咳・インフルエンザなど、社会的に注目される感染症へ積極的な予防策の推進をしています。

● 薬剤医療材料委員会

医薬品・医療材料の適正かつ効率的な使用に取り組んでいます。

● 医療ガス安全管理委員会

医療ガス設備の安全管理と患者さんの安全確保に努め、講演会や勉強会を主催しています。

● 医療安全委員会

日常の医療活動において医療安全が徹底できるように誤薬などの対策に部署を挙げて取り組んでいます。

◎ 医療チーム

● 栄養サポートチーム”NST” (Nutrition Support Team)

医師・看護師・管理栄養士・言語聴覚士などの各専門スタッフとともに、入院患者さんへの最良の栄養支援を行っています。

● 化学療法

がん治療で患者さんに合った抗癌剤の選択支援や副作用への対策、抗癌剤の調整などを担っています。

● 内分泌代謝治療チーム“MCT-YACHIYO” (Metabolism Control Team)

糖尿病などの生活習慣病への療養指導を医師・看護師・検査技師・リハビリスタッフなどとともに取り組んでいます。

● 治験

専属の治験コーディネーターとともに新開発薬の臨床での有効性や安全性について確認を行っています。



社会医療法人 財団新和会
八千代病院

薬剤師募集案内



症例の数だけ、
薬剤師として成長できる



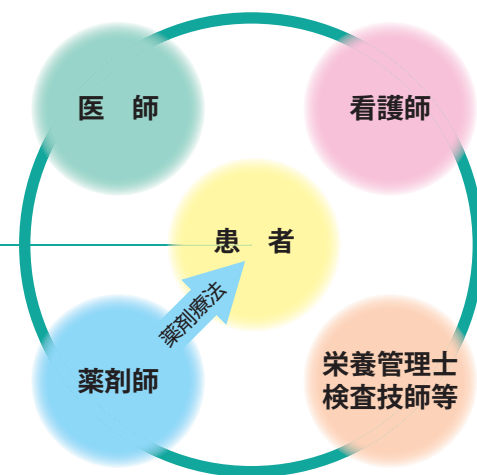
社会医療法人 財団新和会
八千代病院

〒446-8510 安城市住吉町2-2-7
Tel.0566-97-8111(代) Fax.0566-98-2621
ホームページ www.yachiyo-hosp.or.jp



チーム医療の一員として専門性を活かし 質の確保と効率化に貢献しています。

八千代病院の薬剤師は、患者さんの立場に立って
薬に対する必要な情報は何かを考え、
医療チームの一員として最新の医薬品情報の収集、
薬物療法の提供、薬剤管理を常に行っています。



八千代病院薬局の特徴

1. 診療科目29科の患者さんが対象。さまざまな症例に出会えます。
2. 予防から急性期、慢性期、在宅ケアまでをカバーするスーパーケアミックス病院。
3. 専門性を高め、先進性を学び、スキルアップに繋がります。
4. チーム医療の一員として、高度な専門知識と技術を提供します。
5. 患者さんと直接向き合い、的確な医薬品情報を提供します。



調剤業務

医師から患者さんに処方されたお薬の指示は、処方箋として発行されます。薬剤師は、処方箋の内容について飲み合わせ・副作用・飲み方・期間などのチェックを行い、患者さんお一人おひとりに適した調剤を行い、患者さんにはお薬の効果や副作用の情報とともに提供します。



薬品管理業務

お薬は、効果的に使用できるように、品質・数量などを患者さんの治療に合わせて管理する必要があります。そのために、お薬が保管してある場所の温度・湿度・遮光状況などの環境を整え、供給に必要な数量が保管出来るように管理しています。また、災害時にも対応出来るように災害時に必要な医薬品の備蓄もしています。



注射調剤業務

トレーニングを受けた薬剤師が調製を行い、患者さん毎に用意し外来・対象病棟へ届けています。中心静脈から持続点滴される高カロリー輸液などは、細菌汚染を避けるため、クリーンルームにて調製しています。また、抗がん薬の調製については投与スケジュールや投与量の管理を行い患者さんはもとより関わるスタッフの安全を考慮し安全キャビネット内で調製を行うことで安全、正確な医療の提供に努めています。



薬剤管理指導業務

入院患者さんの薬物治療が安全かつ有効的に行われるように、患者さんのお薬の服用歴・アレルギー・副作用歴やその他薬物治療上に影響がある情報をベッドサイドに伺い確認をしています。薬物治療に対して、医師・看護師などの他のスタッフへの情報提供や処方提案を行うなど、協力・連携をしています。よりよい治療をするためにお薬一つひとつの情報を患者さんに理解して治療していただけるように努めています。

製剤業務

患者さんの治療においては、時として市場に販売されていないお薬が必要となることがあります。院内製剤で治療をする必要があると判断されたときには、治療にあわせた院内製剤の有効性、安全性を検討し院内製剤を調製しています。



医薬品情報提供業務

お薬が安全かつ有効的に使用できるように、お薬の様々な情報を集積し整理しています。定期的に加工作成する医薬品情報やメーカーや厚生労働省からの安全性情報は、その情報が的確に伝わるように院内全体へ周知しています。薬事審議においては、採用判断しやすいように各医薬品資料の収集・加工・比較し提示しています。また、院内・院外からの問い合わせの対応や患者さんの副作用が発見された場合は情報を収集してメーカー・厚生労働省への報告も行っています。

